

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公表番号】特表2008-503220(P2008-503220A)

【公表日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-516837(P2007-516837)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
A 0 1 K	67/027	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 N	5/00	B
C 0 7 K	14/47	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	25/02	1 0 1
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
A 0 1 K	67/027	

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

匂い物質受容体が細胞表面に局在しており、細胞系が、1)配列番号:37をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第一の遺伝子、および、2)配列番号:38をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第二の遺伝子を発現する、匂い物質受容体を発現する細胞系。

【請求項 2】

請求項1記載の細胞系から作製された細胞膜調整物。

【請求項 3】

匂い物質受容体がヒト匂い物質受容体である、請求項1記載の細胞系。

【請求項 4】

匂い物質受容体がマウス匂い物質受容体である、請求項1記載の細胞系。

【請求項 5】

匂い物質受容体が合成匂い物質受容体である、請求項1記載の細胞系。

【請求項 6】

匂い物質受容体が細胞表面に局在しており、細胞系が、1)配列番号:47をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第一の遺伝子、および、2)配列番号:38をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第二の遺伝子を発現する、匂い物質受容体を発現する細胞系。

【請求項 7】

請求項6記載の細胞系から作製された細胞膜調整物。

【請求項 8】

匂い物質受容体がヒト匂い物質受容体である、請求項6記載の細胞系。

【請求項 9】

匂い物質受容体がマウス匂い物質受容体である、請求項6記載の細胞系。

【請求項 10】

匂い物質受容体が合成匂い物質受容体である、請求項6記載の細胞系。

【請求項 11】

a) i)1)配列番号:37をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第一の遺伝子、および、2)配列番号:38をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第二の遺伝子を発現する、匂い物質受容体を含む細胞または細胞膜、および

ii)1つまたは複数の試験化合物

を供給する段階、

b)該試験化合物を該細胞系または該細胞膜へ曝す段階、ならびに

c)該匂い物質受容体の活性を検出する段階を含む、

匂い物質受容体リガンドを同定するための方法。

【請求項 12】

2つ以上の試験化合物が含まれる、請求項11記載の方法。

【請求項 13】

検出段階がレポーティング剤を検出する段階を含む、請求項11記載の方法。

【請求項 14】

匂い物質受容体がヒト匂い物質受容体である、請求項11記載の方法。

【請求項 15】

試験化合物が匂いのある分子である、請求項11記載の方法。

【請求項 16】

匂い物質受容体がマウス匂い物質受容体である、請求項11記載の方法。

【請求項 17】

匂い物質受容体が合成匂い物質受容体である、請求項11記載の方法。

【請求項 18】

匂い物質受容体に特異的な対照化合物の存在下で試験化合物が曝される、請求項11記載の方法。

## 【請求項 19】

d) 前記活性に基づいて匂い物質受容体リガンドの存在または非存在を検出する段階をさらに含む、請求項11記載の方法。

## 【請求項 20】

a) i) 1) 配列番号:47をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第一の遺伝子、および、2) 配列番号:38をコードする配列に対して少なくとも80%の類似性を有する核酸配列に対応する第二の遺伝子を発現する、匂い物質受容体を含む細胞または細胞膜、および

ii) 1つまたは複数の試験化合物

を供給する段階、

b) 該試験化合物を該細胞系または該細胞膜へ曝す段階、ならびに

c) 該匂い物質受容体の活性を検出する段階を含む、匂い物質受容体リガンドを同定するための方法。

## 【請求項 21】

2つ以上の試験化合物が含まれる、請求項20記載の方法。

## 【請求項 22】

検出段階がレポーティング剤を検出する段階を含む、請求項20記載の方法。

## 【請求項 23】

匂い物質受容体がヒト匂い物質受容体である、請求項20記載の方法。

## 【請求項 24】

試験化合物が匂いのある分子である、請求項20記載の方法。

## 【請求項 25】

匂い物質受容体がマウス匂い物質受容体である、請求項20記載の方法。

## 【請求項 26】

匂い物質受容体が合成匂い物質受容体である、請求項20記載の方法。

## 【請求項 27】

匂い物質受容体に特異的な対照化合物の存在下で試験化合物が曝される、請求項20記載の方法。

## 【請求項 28】

d) 前記活性に基づいて匂い物質受容体リガンドの存在または非存在を検出する段階をさらに含む、請求項20記載の方法。

## 【請求項 29】

配列番号:38および47、ならびに、配列番号:38および47と少なくとも80%同一であるそれらの変種からなる群より選択されるタンパク質をコードする配列を含む単離かつ精製された核酸配列。

## 【請求項 30】

異種プロモーターへ実施可能に連結されている、請求項29記載の核酸配列。

## 【請求項 31】

ベクター内に含まれる、請求項29記載の核酸配列。

## 【請求項 32】

ベクターが宿主細胞において発現される、請求項31記載の核酸配列。

## 【請求項 33】

配列番号:17および18を含む核酸へ高ストリンジエントな条件下でハイブリダイズする、単離かつ精製された核酸配列。

## 【請求項 34】

異種プロモーターへ実施可能に連結されている、請求項33記載の核酸配列。

## 【請求項 35】

ベクター内に含まれる、請求項33記載の核酸配列。

## 【請求項 36】

ベクターが宿主細胞において発現される、請求項35記載の核酸配列。

**【請求項 37】**

宿主細胞が生物体に位置し、該生物体が非ヒト動物である、請求項36記載の核酸配列。

**【請求項 38】**

配列番号:17および18、ならびに、配列番号:17および18と少なくとも80%同一であるそれらの変種からなる群より選択される核酸によりコードされる単離されたポリペプチド。

**【請求項 39】**

前記核酸が配列番号:17および18と少なくとも90%同一である、請求項38記載の単離されたポリペプチド。

**【請求項 40】**

前記核酸が配列番号:17および18と少なくとも95%同一である、請求項38記載の単離されたポリペプチド。